

2023年 12月 11日

J A 広島総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	膵切除症例における術前非腫瘍性病変の臨床病理学的検討
倫理委員会承認番号	No.23-
研究の対象	2014年1月から2023年11月の期間で、当院外科にて膵切除術（膵頭十二指腸切除術、膵体尾部切除術、膵全摘術）を受けられた患者さま。
研究目的・方法	<ul style="list-style-type: none"> 膵臓癌の予後を改善させるためには、早期に診断し治療介入を行う必要があります。 CTやMRIで膵管の拡張・狭窄所見を認めるものの明らかな腫瘤が認められない場合、経過観察となっている場合が少なくは無く、経過観察中に腫瘤が出現したときにはすでに進行癌となっている場合があります。しかし、膵切除術は合併症率が高く侵襲の大きな手術であるため、病理学的に悪性所見を認めなければ、結果として手術が過大侵襲となってしまう可能性があります。 膵管拡張・狭窄の所見のみで手術を行った患者さまの臨床病理学的因子の解析、予後調査を後方視的に行うことで、至適な手術時期の決定に役立つ可能性があります。
研究に用いる試料・情報の種類	膵切除術の治療経過、臨床検査所見、病理学的所見（カルテ情報より抜粋）
外部への試料・情報の提供	当院で手術を行われた患者様のみが対象で、情報の解析も当院で行われるため外部へ患者さまの情報を提供することはありません。研究成果は研究会や学会での発表を予定していますが、その際も対象となった患者さま個人が投句定可能な個人情報を用いることはありません。
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の研究対象者を特定可能な個人情報は削除いたします。
利益相反の有無	無（ ）
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 外科 研究責任者：山口 拓朗 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	